

令和7年度事業報告書

社会福祉法人 公徳会

1. 概 況

法人の理念に基づき、児童健全育成のサービス拠点として対象者の人権の尊重や個人の尊厳に配慮したサービスの提供を行った。サービス提供の内容を明確化且つ浸透させるために明文化し職員に周知した。また、定期的な見直しを行った。

コンプライアンス体制構築のため倫理や法令等の遵守徹底に向けた管理体制や規定の整備、職員への周知・教育を行った。

対象者・家族の苦情・相談に対しても誠意をもって適切に対応し、第三者委員の活用など、是正・改善する取り組みも引き続き行った。

組織統治(ガバナンス)の確立のため、施設運営方針・計画を明確にし、執行状況を適宜確認。経営のチェック機能・牽制機能の強化を図った。

併せて労働環境改善の為の業務体制の見直しや業務省力化を推進し、職員の業務負担の軽減に努め、対象者への更なるサービスの向上を図った。

2. 評議員会・理事会運営

下記の通り、理事会・評議員会を開催した。

〔理 事 会〕

開 催 日	出 席 者	議 事 案 件
令和7年 3月 27日 (木)	理事 6名 (うち書面出席3名) 監事 2名	・令和6年度 補正予算 ・令和7年度 事業計画・予算 ・役員等賠償責任保険契約締結について ・給与規程一部改訂について ・理事長職務執行状況について
令和7年 5月 29日(木)	理事 6名 監事 2名 (うち書面出席1名)	・令和6年度 事業報告 ・令和6年度 決算(監事監査報告) ・理事長職務執行状況について ・社会福祉充実計画について ・理事・監事候補者について ・評議員候補者について ・評議員会 開催について
令和7年 6月 20日 (金)	理事 6名 (うち書面出席3名)	・理事長選任について

〔評議員解選任(解任)委員会〕

開 催 日	出 席 者	議 事 案 件
令和7年 5月 30日(金)	委員 4名	・評議員選任の件

〔評議員会〕

開催日	出席者	議事案件
令和7年 6月20日(金)	評議員名 6名(1欠席) (うち1名書面出席)	・令和6年度 事業報告 ・令和6年度 決算(監事監査報告) ・理事長職務執行状況について ・社会福祉充実計画について ・理事・監事候補者について ・評議員候補者について

3. 施設事業運営

(1) 対象者処遇

公德学園・マザー保育園共に 施設運営における あらゆるリスクに対して備えを図ると共に、意見箱を通じ 利用者・保護者の意見 要望を聞き取り、より一層の処遇向上・福祉増進を図った。

(2) 職員処遇

職員の資質向上を図るため、園内研修会を充実させ外部各種研修会、講習会等に積極的に派遣。また自主的な研修参加も奨励した。

福利厚生面では、共済会の各種事業の利用を紹介する他、互助会での行事を通して職員間の親睦を図った。

令和 7 年度事業報告書

公 徳 学 園

1. 対象者処遇

(1) 処遇内容

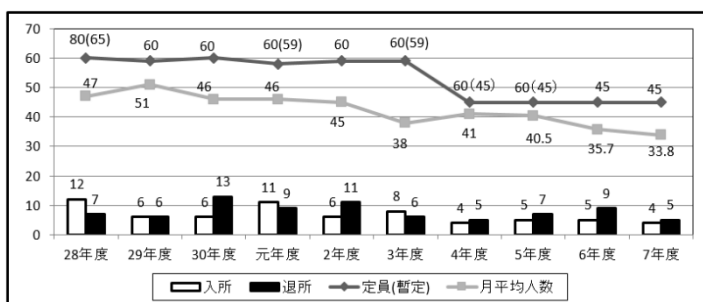
当園の処遇重点目標である『安全と自立』に基づき、子どもたちが安全で安心して生活できる環境を提供すると共に、自立に向けての様々な援助を行った。

- ① 中高生主体の小規模グループ（男女各 2 グループ）と小学生・幼児中心の小舎（男女各 1 グループ）体制を令和 5 年度からスタートし、本年度で 3 年目となった。より家庭的な生活環境の中で、子どもたちが自立に向けた様々なスキルを身につけられるようケアを展開した。
- ② 小舎制のグループにおいて、毎週月曜日の夕食は、厨房職員・グループ職員がグループにて調理をし、グループのリビングでの食事に行っている。今後の全グループ小規模化に向けた取り組みの一環である。子どもたちの生活の場で調理し、生活棟の居間で食事を摂ることにより、子どもたちがより食への興味を持つなど一定の効果が見られた。
- ③ 中高生に対して自立に向けてのプログラムを実践した。
- ④ 被虐待等、より心理的ケアが必要な子どもに対して、臨床心理士によるセラピーを実施した。臨床心理士と直接処遇職員による連絡会を定期的実施し、連携を図った。
- ⑤ 給食については、季節感や行事食をとり入れ、変化に富んだメニューを提供した。更に栄養バランス・食事摂取基準を考慮し、子どもたちの発育を促した。
- ⑥ 中高生による自主活動委員会が中心となり、職員のサポートのもと、園内行事（子どもの広場）を計画した。また、グループごとに行事を計画立案し、日帰り旅行・花火大会・バーベキュー・温浴施設・グループ夏祭りなどを実施した。

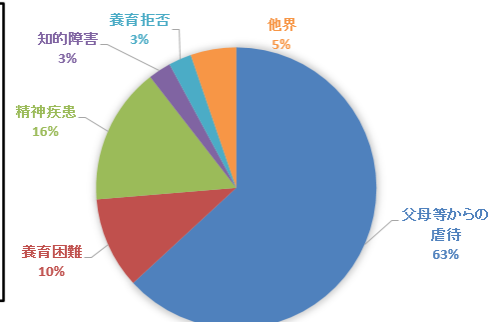
(2) 児童状況

児童定員 45 名に対して月平均在籍児は 33.8 名であった。入所は 3 歳から 9 歳の低年齢児を 4 名受け入れた。退所児は自立 1 名、家庭引き取り 3 名、自立支援ホームへ措置変更 1 名の計 5 名であった。一時保護委託児は 8 名（延べ 428 日）を受け入れた。

【定員及び在籍数、入退所児数の推移】



【入所理由】



(3) 年間実施工事

4月	23日	防災設備点検・避難器具訓練	11月	5日	職員定期健康診断
	27日	ロータリークラブイベント参加		8日	子どもの広場
				14日	創立記念パーティー
5月	1日	小学校交流会		15日	創立記念日（102周年）
6月	14日	プロ野球招待		1日	東大阪施設会イベント参加
	21日	ロータリークラブ万博招待		10日	事務所大掃除
				13日	クリスマスコンサート
7月	11日	事務所大掃除	12月	14日	未来っ子カーニバル
	19日	文化創造館イベント招待		20日	アーバンケア餅つき招待
	25日	地域除草作業		22日	高校生金融講座（UFJ）
	25日	難波別院映画巡回		31日	除夜の鐘つき
	29日 30日	施設林間（小3・小4）			
8月	18日 19日	目で見る自然教室	1月	1日	新年の挨拶
	20日	地域除草作業		5日 6日	USJ 招待
	23日	交歓ソフトボール大会（中止）		21日 28日	CAP ワークショップ
	23日 24日	地藏盆・数珠繰り		26日 27日	第三者評価受審
	26日	夏休みお楽しみ夕食会	2月	21日	赤十字冬の集
9月	15日	プロ野球招待		8日	USJ 招待
	28日	アーバンケア祭り招待		18日	卒園・卒業祝会
				24日	縁日
10月	4日	OSK 観劇招待	3月	25日	児童・職員定期健診
	6日	ポップサーカス招待		26日	離着任式
	18日	東大阪施設会合同運動会			
	29日	防災設備点検・避難器具訓練			

連休中・長期休み中は、各G単位で外食・日帰り旅行・カラオケ・温浴施設・ボーリング・買い物ツアーなどG活動を実施

小学校校庭での校庭開放は第二・四土曜日（原則）に実施

地域まつり（7/25・10/24・25）参加

中学校との交流会（4/28・6/18・7/4・9/26・10/17・2/18）実施

2. 施設運営全般

(1) 施設運営業務

① 苦情解決システム

意見箱を設置し、入所児・保護者等から意見を聞き、リーダー会議にて随時協議、対応した。又、第三者委員に報告し、助言・指導をもらった。

② ヒヤリ・ハット

処遇上危険を感じた事例を都度、チャイルドノートに記録し周知したうえで、職員会議等で報告することにより職員間で共有し、事故の再発を未然に防ぐ対策を講じた。

③ 情報開示

全社協・経営協・東大阪市のインターネット上に法人調書・会計状況の開示を行った。

④ 第三者評価受審

令和7年度は三年に一度の受審年度であったため、第三者評価を受審した。

⑤ 職員の資質向上

職員の資質の向上、専門性の向上のため、研修計画に基づき研修に取り組んだ。

◎園内研修

階層別研修	各階層ごとのテーマ
人権研修	子どもの人権・施設内虐待防止
処遇研修	子どもとの関わりについて、防災について
OJT 研修	日々の業務の中で各部署責任者が職員に対して実施

◎新任職員研修

次年度採用者に対して就職前に非常勤職員として雇用し、実際の業務を通じて援助技術等の習得を図った。

⑥ 職員交換研修

浄土宗社会福祉協会のプログラムによって当園職員と島根県・聖喤寮の職員が下記日程で交換研修を行った。

聖喤寮職員受け入れ 9月19日～23日

公德学園職員派遣 12月5日～9日

⑦ 委員会制度

職員によるプロジェクトチームを継続。昨年度より継続のスマホ委員会では、子どもたちのスマホ所持・運用ルールを策定、また職員携帯のスマホ化を検討した。今年度からは広報委員会が発足し、広報誌「学園だより」の大幅な見直しにより紙面リニューアルを行い、発行回数も年3回とした。

(2) 地域福祉サービス

【ショートステイ(子育て短期支援事業)】

一般世帯の子どもについて、レスパイト(養育休養)等の理由で、25件(5名・延べ56日)のショートステイを受け入れ、地域の福祉ニーズに対応した。

(3) 社会貢献事業

【子どもの広場】

施設を開放し、行政・学校・ボランティア団体・子どもの友人等を招待し、地域交流のためのイベントを開催した。

(4) 環境整備

入所児の処遇向上・業務省力化を図るため、国の補助金を活用して下記の事業を行った。

◎環境改善事業費補助金（ICT 化推進費用）750,000 円

◆業務用 PC 購入

業務用 PC の台数を増やし、職員の業務効率化を図ることで、より子どもと接する時間を捻出できるようにした。

◆児童棟 Wi-Fi 環境整備

児童棟に Wi-Fi ルーターを増設、ICT のさらなる活用で入所児の学習・余暇等、処遇向上を図った。

◆児童棟スキャナー設置

児童棟にスキャナーを設置、職員の業務効率化を図った。

【事業費総額】1,024,100 円

【請負業者】ヤマイチテクノ・ヤマダデンキ

(5) その他継続した事業

- ① 地域活動への参加（小中学校地区活動、地域防犯・青年会活動）
- ② 実習生の受け入れ 3 校 7 名（延べ 77 日）、
現場体験の受け入れ 4 名（延べ 7 日）
- ③ ボランティアの受け入れ（3 名延べ 59 回、1 団体延べ 12 回）
- ④ 卒園生へのアフターケア（社会に適応できるように悩み相談・自立支援等）
- ⑤ 『学園だより』をホームページ上に年 3 回掲載し、保護者・関係機関等に施設・児童状況を知らせた。なお、寄贈の問い合わせも月平均 1 件程度あった。